



記者発表資料

平成22年5月26日

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時資料提供：京都経済記者クラブ、神戸経済記者クラブ)

「“新しい外需” 開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」 の発足について

【お問合せ】

大阪商工会議所 経済産業部 (近藤・伊藤)

TEL：06-6944-6304

- 大阪・京都・神戸など近畿圏の商工会議所は、「“新しい外需” 開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」を6月23日に発足させる。現在、近畿商工会議所連合会（会長＝佐藤茂雄・大阪商工会議所会頭、近畿2府5県（福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）の71商工会議所で構成）加盟の各会議所に参加を呼びかけている。
- 外需拡大による成長の実現が日本経済の大きな課題となる中、鍵を握るのは、アジアをはじめとする新興国の中間層やBOP (Base of the Economic Pyramid) などボリュームゾーンの開拓。従来の輸出型製造業だけでなく、幅広い業種・規模の企業を海外の成長市場につなげることが重要になりつつある。そこで、近畿の商工会議所が連携し、外需開拓に関する当地の企業の取り組み実態や意欲などを把握し、必要な支援策などを検討する。
- 具体的には、同研究会を実施母体にアンケート調査や先進企業の取り組み事例集作成、セミナー開催など、ニーズの把握や啓発活動を行うとともに、中小企業の外需開拓に向け国の支援策などに関する要望・提言を取りまとめる予定。
- 同研究会は、平成22年6月から12月までに計4回程度の開催を予定している。

<第1回研究会 開催概要>

【日 時】平成22年6月23日（水）午後2時～同3時30分

【会 場】大阪商工会議所 4階 特別会議室（大阪市中央区本町橋2-8）

【参加者】大阪・京都・神戸の3商工会議所

近畿商工会議所連合会の加盟会議所（参加募集中）

【内 容】1. 本研究会の趣旨説明

2. 講演「水ビジネスが世界を救う～中小企業が挑むBOP」（仮題）

日本ポリグル株式会社 代表取締役会長 小田 兼利 氏

3. 意見交換

①アンケート調査の実施について、②事例集の作成について

4. その他

* プレスオープンです。取材いただける場合は、当日会場受付までお越しく下さい。

以 上

<添付資料>

資料1：“新しい外需” 開拓研究会 概要

資料2：“新しい外需” 開拓研究会 参加メンバーの募集および第1回研究会開催のご案内

「“新しい外需” 開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」 概要

大阪商工会議所

1. 趣旨

- 日本経済の最大の課題は、デフレからの早期脱却と内外需拡大による成長の実現である。政府は「新成長戦略」を6月にも取りまとめる運びであるが、その基本方針では、戦略分野の一つとして「アジア」を掲げ、中間所得層の増大やインフラ需要をわが国の成長につなげることが肝要としている。
- 他方、企業も新たなターゲットとしてアジアをはじめ新興国の中間層やBOP (Base of the Economic Pyramid) といったボリュームゾーンに着目し、市場開拓を始めている。
- そこで、BOPビジネスをはじめわが国の今後の成長の鍵を握る外需開拓に関し、高いホスピタリティや安全性など日本の製品・サービスの特徴を生かすとの問題意識のもと、こうした強みを持つ近畿圏の企業の取り組み実態や意欲を把握するとともに必要な支援策を検討するため、研究会を設置する。

2. 実施時期

- 平成 22 年 6 月～12 月（4 回程度）

3. メンバー

- 近畿商工会議所連合会メンバーのうち、参加を希望する会議所。
- 必要に応じ、海外展開支援機関や役員・議員会社などをオブザーバーとして招く。

4. 開催地

- 各回のテーマに応じた場所で開催（大阪・神戸・京都などを想定）。

5. 事業内容

①アンケート調査の実施

- 研究会メンバー会議所の会員企業を対象に、外需開拓を目指した取り組み実態や関心、政策ニーズなどに関するアンケート調査を実施する。

②事例集の作成

- 研究会メンバー会議所の会員企業の中から、“新しい外需”をターゲットとする先進的取り組みを行う企業を発掘・ヒアリングする。
- ヒアリング結果を取りまとめて事例集を作成し、幅広い企業の参考に資する。

③要望・提言の建議

- 会員企業アンケートやヒアリング、研究会での議論などを踏まえ、必要に応じ中小企業の外需開拓に関する要望・提言を取りまとめる。

④セミナーの開催

- “新しい外需”の開拓をテーマにしたセミナーを実施する。
(政府関係機関の動き、先進的企業の取り組み紹介など。)

6. スケジュール

	研究会	アンケート調査／事例集／ 要望・提言	セミナー
5月	メンバー募集		
6月	第1回開催 ・講演 ・研究会の実施内容などの検討 ・アンケート調査票の検討 ・事例ヒアリングの実施を検討		
7月		アンケート調査の実施 事例ヒアリングの実施	
8月			
9月	第2回開催 ・講演 ・アンケート調査結果の確認 ・事例集の内容を検討	アンケート調査結果／事例 集の公表	
10月	第3回開催 ・講演 ・要望・提言骨子の検討	要望・提言の作成 ↓	セミナー開催 (事例集掲載企業のPR)
11月			
12月	第4回開催 ・講演 ・要望・提言の内容を検討	要望・提言の公表	

<講演テーマ案>

- BOPビジネス～中小企業はBOPにどう挑むのか
- 中国人旅行客を対象とするビジネス～富裕層のニーズを探る
- 外需開拓を目指したアパレル産業の新しい取り組み～リアルクローズから始まるトレンド戦略
- 海外での住宅建設～日本のライフスタイルはアジアに受け入れられるか
- サイエンス映像輸出への取り組み～モノづくりとコンテンツ産業の融合

以 上

参 考 (経済産業省資料などから作成)

- 先進国市場が相対的に縮小する中、今後高い成長が期待できる新興国の中間所得層やBOP (Base of the Economic Pyramid) 層のマーケット開拓が大きな課題となっている。
- 中国、インドなど11カ国で、世帯可処分所得が年間5,000～35,000ドルの中間所得層の人口は、平成20年で8.8億人である。平成2年の1.4億人から約6.2倍に増えており、今後も増加が見込まれる。こうした中、政府は今年7月1日から、中国人向け個人観光ビザの発行要件を大幅に緩和することを決めた。対象者を現在の「十分な経済力を有する者」から「一定の職業上の地位及び経済力を有する者」とし、幅広い中間層を受け入れる。これにより、ビザの発行対象は1,600万世帯程度になると見ている。
- さらに、BOP層 (年収3,000ドル以下) は全世界人口の約7割 (40億人) を占めており、極めて大きなポテンシャルを有する将来市場 (5兆ドル規模) であると考えられる。現地での様々な社会問題 (水、生活必需品・サービスの提供、貧困削減など) を解決する手法として、「BOPビジネス」に期待が寄せられている。

< “新しい外需” を開拓しようとする企業／プロジェクトの事例 >

<p>日本ポリグル株式会社 (経済産業省「平成21年度社会課題解決型の官民連携プログラム支援事業」対象事業) —凝集剤の開発・製造・販売</p>	<p>天然成分を原料とした凝集剤(水の濁りを除去するためなどに用いられる物質)を販売することで、バングラデシュにおけるBOP層の水事情を改善。</p>
<p>ワタベウエディング株式会社 (「ハイ・サービス日本300選」受賞) —挙式サービス業</p>	<p>京都・沖縄などにおける「デスティネーション挙式」(旅行を伴った挙式) サービスを展開。内需産業とされる結婚式ビジネスで外需を開拓。</p>
<p>株式会社御所坊 (「ハイ・サービス日本300選」受賞) —旅館</p>	<p>国内の各国際空港から2時間以内でチェックインできる温泉旅館は有馬温泉だけという利点を生かして、外国人旅行者の誘致活動を強化。観光マップ、ホームページなど観光情報を多言語で発信し、外国人向け観光プログラムを作成。外国人おもてなしセミナーも実施し、国際競争力ある観光地づくりを推進。</p>
<p>神戸ブランドMeets上海 (「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト) —ファッションイベント</p>	<p>ファッション都市神戸の認知度を上げるため、日本最大級のファッションイベントである「神戸コレクション」の上海開催を通じ、アパレルブランドの海外進出を実施。</p>
<p>キュービーネット株式会社 (平成20年度中小企業白書掲載) —理容業</p>	<p>「10分・1000円」の低料金によるヘアカットに特化した店をフランチャイズ展開。香港やシンガポールなど海外へも進出。業法の規制の厳しい国内よりも海外でのビジネスは自由度が高いとのメリットもある。</p>

以上

各地商工会議所 御中

**「“新しい外需”開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」
参加メンバーの募集および第1回研究会開催のご案内**

大阪商工会議所

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、近畿商工会議所連合会の助成を受け、「“新しい外需”開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」を設置いたします。本研究会では、新興国を対象にしたビジネスをはじめ、わが国の今後の成長の鍵を握る外需開拓をテーマとして、近畿圏の企業の取り組み実態や意欲を把握するとともに、必要な支援策などを検討いたしたく存じております。

つきましては、同事業の内容（別紙）をご高覧のうえ、メンバー登録に関するご意向をお聞かせください。また、登録をご希望の場合は、下記の通り第1回研究会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。 敬 具

記

◆第1回研究会 開催概要◆

日 時：平成22年6月23日(水) 午後2時～同3時30分

場 所：大阪商工会議所 4階 特別会議室

内 容：1. 本研究会の趣旨説明

2. 講演「水ビジネスが世界を救う～中小企業が挑むBOP」（仮題）

日本ポリグル株式会社 代表取締役会長 小田 兼利 氏

3. 意見交換 ①アンケート調査の実施について ②事例集の作成について

4. その他

<講師ご略歴>

昭和16年熊本県生まれ。昭和39年に大阪大学基礎工学部を卒業し、大阪金属鋳業株（現・ダイキン）に入社。15年在籍した後、独立し個人事務所を設立。納豆のネバネバ成分であるポリグルタミン酸を使った水質浄化剤を発明し、平成14年日本ポリグル株を創業した。現在は、深刻な水問題解決のため世界中を駆け回っている。人生のテーマは、「世界中の人々が安心して生水を飲めるようにすること」。

以上

【本件担当】大阪商工会議所 経済産業部 伊藤・近藤

TEL：06-6944-6304 FAX：06-6944-6249 E-mail:ito@osaka.cci.or.jp

大阪商工会議所 経済産業部 伊藤行

FAX 06-6944-6249

「“新しい外需”開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」参加回示

会議所名：

ご連絡先TEL：

「“新しい外需”開拓研究会～アジアの成長を近畿の成長に取り込む～」に

メンバー登録する ・ メンバー登録しない



<メンバー登録される場合は、第1回研究会（6月23日）の出欠を御記入ください>

参加者ご芳名	部署・役職名	出 欠
		出席・欠席
		出席・欠席

※3名様以上の場合はお手数をおかけいたしますが、余白にご記入、または本紙をコピーしてご連絡いただければ幸いです。

※ご記入いただいた参加者情報は、本会議所からの各種連絡・情報提供に利用するとともに、講師、参加者には名簿として配布します。